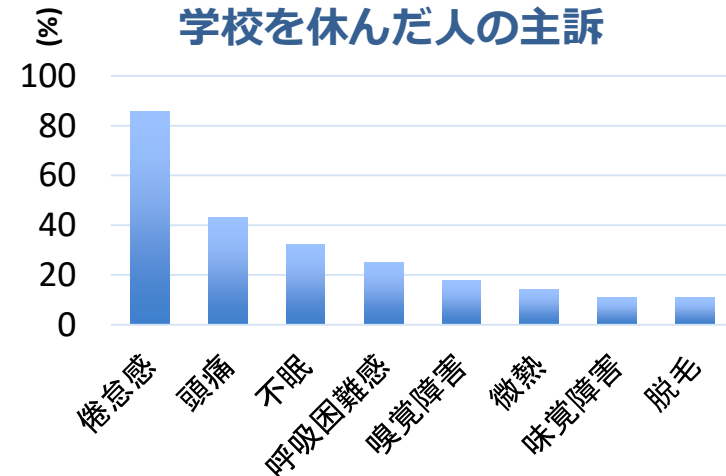


## コロナ・アフターケア（CAC）外来における10代患者の特徴

新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、若年者の新型コロナウイルス後遺症の患者さんが増えています。2021年2月から2022年10月までの間にコロナ・アフターケア外来を受診された460人の患者さんを対象にデータをまとめました。

- 全体の約**1割が10代の患者さん**でした。
- ウイルス株の比較では、デルタ株の流行期の感染者では嗅覚・味覚障害が多かったのに対し、オミクロン株では**倦怠感が増加**しました。
- 就学している患者さんの**56%**（50人のうち28人）が学校に行けないほどに症状が重く、その方達に多い症状は**倦怠感と頭痛と不眠**でした。



若年者の新型コロナウイルス感染症は軽症で経過することが多いですが、たとえ急性期が軽症でも、後遺症状になることがあります。保護者の方、学校の先生方のご理解と引き続きの感染対策が必要と考えます。